

10月5日実施 あすみが丘地区の小・中学校通学区域の調整に係る代表者会議の記録について

千葉市教育委員会学事課

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日開催しました「あすみが丘地区の小・中学校通学区域調整に係る代表者会議」の議事録（要旨）を作成しましたので、配布いたします。今回の代表者会議において決定した内容で通学区域規則改正を行い、来年4月からの学区変更といたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 日時：平成27年10月5日（月） 午後6：00～7：15
- 2 場所：あすみが丘小学校 図書室
- 3 出席者 自治会協議会代表 青少年育成委員会会長 保護者会長 関係自治会会長 各校長
学事課職員
- 4 決定事項
 - ・「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」については、案の通り進める。「あすみが丘東5丁目の一部」については現状の通り、あすみが丘小の学区とする。
 - ・来年度4月からの学区変更とする。

5 会議の概要

開 会：6：00～

教育委員会挨拶

- ・9月26日（土）にあすみが丘小の体育館で、説明会を実施した。また、本日（10月5日）の午前中に、説明会当日に運動会があったあすみ中央幼稚園の保護者を対象に説明会を実施した。
- ・前回の代表者会議で合意を得た「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」の地区の変更案について提示した。これについては、ほとんど異論はなかった。一方「あすみが丘東5丁目の一部」の地域の方から、反対の意見が多く出された。「あすみが丘東5丁目の一部」の地区についてはさまざまな意見があったので、代表者会議に持ち帰り、再度審議したいという話をした。
- ・「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」の地区についてはおおむね同意を得られたということで、学区変更を進めさせていただきたい。

協 議：6：10～

<説明>

1. 9月26日に実施した説明会の報告
 - ・「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」の地区の変更について特に意見はなかったが、「あすみが丘東5丁目の一部」の地区については反対意見が多く出された。
2. 今後の進め方について
 - ・「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」の地区については提示した案のように変更することとし、「あすみが丘東5丁目の一部」の地区についてはこれまで通りあすみが丘小の学区とし、あすみが丘小が大規模校の指定となっているので近隣の適正規模校に行けることを周知していく
 - ・代表者会議で話がまとまった後、10月の教育委員会会議で通学区域規則を改正し、来年の4月から通学区域変更としたい。

<検討・協議>

- 地域全体の均衡ある発展を実現するための方法を考えてもらいたい。いろいろなアイデアがあるのではないかと。「あすみが丘東5丁目の一部」を大椎小の学区にしながらかあすみが丘小も選べるようにする、「あすみが丘東3丁目」の地域も含めるようにする、あすみが丘東地区を自由学区として3つの小学校のどこでも選べるようにする、といった方法も考えられるのではないかと。
- 「あすみが丘東5丁目の一部」の地区の反対が多い中、地区を広げるのは問題を広げるだけではないかと。小規模校のデメリットがはっきりしていない。自由学区としたら、安全確保が難しくなる。あすみが丘小の大規模校化解消のため、「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」の案で早く進めてもらいたい。
- あすみが丘小が大規模校なので近隣の小学校へ行くことができるということの周知は、教育委員会でやってもらえるのか。
⇒就学時健診の場で学区外通学の制度について周知を図っていききたい。

○昨年にもやられていたことだと思うが、昨年とは違う取組はあるのか。

⇒その他のことについては、まだ検討していない。

○その他のPRもしてもらいたい。大椎小の小規模校化を防ぐ手立てを考えてもらいたい。

⇒説明会の中で出た意見では、大椎小に行きたくないというわけではなく、通学の安全に不安があるという意見が多い。大椎小の学区としたとき「あすみが丘東5丁目の一部」に住んでいる方には学区外通学の申請をしてもらわないといけませんが、それも抵抗感が大きいのではないかと。

○説明会で、安全面についての意見があったが、今の状況を変えたくないという気持ちがあるのだろう。

「あすみが丘東5丁目の一部」だけでは小さくて仲間が少ないというのが原因だろう。「あすみが丘東5丁目の一部」＋「あすみが丘東3丁目」を考えてもよいのではないかと。学事課としては、大椎小の小規模校化をどう考えているのか。

⇒大椎小が将来統合されるかどうかは、今後の推移を見ていかなければ断言できない。「あすみが丘東3丁目」の地域も含めて考えると、通学負担増ということも出てくるのではないかと。大椎小の小規模校化をくい止めたいと思うが、なかなか妙案はない。あすみが丘小の保護者・児童へ、大椎小へも行けることをPRしていく。

○大規模校、小規模校、それぞれメリット・デメリットはある。就学時健診でのPRに加えて、就学時健診の案内の際に通学の変更が可能であること、健診の会場も変えられること等の周知をするとよいのではないかと。また、前回の提案の方針を取りつつ、大椎小の学区だが手続きを取ることで兄弟姉妹がいない人もあすみが丘小へ通うことも可能である、という地域にできないものか。

○説明会の中で、「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」については、説明会でも納得してくださったということで、「あすみが丘4～6丁目及びあすみが丘東1～2丁目、あすみが丘東3丁目」は進めてよいと思う。また、「あすみが丘東5丁目の一部」に住む人の気持ちをくんで、「あすみが丘東5丁目の一部」はあすみが丘小の学区のままがよいのではないかと。大椎小の小規模校化や、大椎中に進学したときにあすみが丘小の人の方が大椎小より多くなってしまうということについては、子どもの間で問題が起きないように地域の中で協力し合いながらやっていくしかないだろう。

○「あすみが丘東5丁目の一部」の地域の人たちは、通学路の安全に不安があるということだったが、現在歩道がある反対側にも歩道を造るようにしてもらえれば不安が解消されるのではないかとと思うが、どれくらいの期間で整備してもらえるものなのか。

⇒「あすみが丘東5丁目の一部」の方は、新しい1年生だけが、大椎小へ行くことに、大きな抵抗がある。歩道の整備となると警察が関わってくることになるので、かなりハードルが高く、時間がかかる。

○小規模校には小規模校のメリットがあると言っても、大きな学校で教育を受けたいという人の方が多いのではないかと。学区外通学についてPRしても、効果はあまりないのではないかと。

⇒兄弟が通っていれば一緒に学校へ行けるというようになっているので、学区変更をしても必ずしも推計のようになるわけではなく、個々によって変わってくる。大椎小へ行こうという子が何人か集まれば大椎小へ流れるだろう。同じ学年の子がどの程度行くかでも変わってくる。

○大きな方針としては、3校を並立で行こうとしているのか、統合という形でやろうとしているのか。

⇒統合については、教育委員会の企画課が所管している。学事課としては、学区を調整して標準規模を維持したいと考えている。

○大規模校から周辺の適正規模校への学区外通学承認のことを、保護者はよく知らないのと、周知するとよいのではないかと。

○学校同士の交流をもっとやっていただき、親も関われるようにしてもらえると、地域で分かりあえるのではないかと。特に、同じ中学校に上がる子ども同士、親同士の交流を図ってもらいたい。

○小学校3校が競って、魅力のある教育のPRをするとよいのではないかと。